

令和6年度愛別町歳入歳出予算総括表

(単位:千円・%)

会計名	本年度予算	前年度予算	比較	増減率	
一般会計	3,938,000	3,241,000	697,000	21.5	
特別会計	国民健康保険	352,987	353,221	△ 234	△ 0.1
	国民健康保険診療所事業	166,785	150,560	16,225	10.8
	後期高齢者医療	63,792	59,564	4,228	7.1
	介護保険事業	520,738	516,870	3,868	0.7
	公共下水道事業	0	207,984	△ 207,984	△ 100.0
	小計	1,104,302	1,288,199	△ 183,897	△ 14.3
企業会計	簡易水道事業(収益的収支)	161,085	165,729	△ 4,644	△ 2.8
	簡易水道事業(資本的収支)	188,301	322,956	△ 134,655	△ 41.7
	公共下水道事業(収益的収支)	131,924	0	131,924	100.0
	公共下水道事業(資本的収支)	308,761	0	308,761	100.0
	小計	790,071	488,685	301,386	61.7
合計	5,832,373	5,017,884	814,489	16.2	

■ 予算編成方針

我が国の経済状況は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される一方、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があると指摘されています。

「経済財政運営と改革の基本方針2023」においては、ロシアによるウクライナ侵略が国際秩序の根幹を揺るがす中で「法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序」の維持・強化、深刻さを増す世界規模での気候変動や災害問題の克服、エネルギー・食糧問題を包含する経済安全保障に対応したサプライチェーンの再構築など、世界的な課題に対する果敢な対応と国際協調が一層求められている中で、四半世紀にわたるデフレ経済からの脱却、急速に進行する少子化とその背景にある若年層の将来不安への対応、気候変動や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた持続可能な経済社会の構築など、意識の変化や社会変革を求める構造的な課題に直面していると言及し、こうした「時代の転換点」とも言える内外の構造的な課題の克服に向け、変化に対応した経済社会の変革を進め、多様な価値観が尊重される社会の実現に向けた取組等を通じて、新たな経済社会の創造に向けた改革を進めるとしています。

愛別町の令和4年度決算においては、実質収支では142,703千円の黒字であり、また、財政健全化法に基づく財政指標についても、いずれも国が定めた早期健全化基準の範囲内にあります。一方で経常収支比率については、高い水準で推移しており、財政構造の硬直化が一層進んでいます。今後においても人口減少による町税、普通交付税の減少が見込まれるなど歳入面において厳しい状況が予想されます。

令和6年度当初予算については、「第11次愛別町振興計画」の5年目を迎え、前期基本計画の最終年となることから、事業や施策の進捗状況の検証を十分に行うとともに、新たな視点で事務事業評価を実践し、住民生活の充実に寄与できるよう、諸般の行財政の現状を十分に認識しながら、健全で持続可能な財政運営と振興計画の基本テーマである「子どもの笑顔がやぐ恵みの大地 あいべつ」の実現と後期基本計画の立案・実践に向けた予算編成を基本方針として予算編成を行いました。

